

「とよなか散策」スポット紹介 その②大塚古墳

豊中市保健所横にある大塚古墳(国指定史跡)は、5世紀の初頭に築かれた桜塚古墳群の盟主墳で唯一の円墳です。一般的には盟主墳は前方後円墳であることがほとんどですが、大塚古墳の3段築成の墳丘は直径約56m、高さ約8m、周囲に幅12mの周濠を伴い、桜塚古墳群でも最大級の体積を有しています。

墳頂部には3基の埋葬施設(主体部)が検出されました。調査前には公園として自由に出入りができたため墳丘盛土が流出し、最も新しくえられたと考えられる第1主体部については、すでに棺床が露出した状況で、詳しい規模などは不明です。勾玉や管玉などの玉類と刀剣、鉄鏃が出土しています。

墳頂部のほぼ中央で検出された第2主体部は、大きな長方形の墓壇(南北9.6m、東西6.2m)中に巨木を縦に半裁し中をくり抜いた割竹型木棺(長さ約7m)をすえて、粘土で被覆した粘土槨が2基検出されました。左側の西槨は鎌倉時代に盗掘を受けており、木棺の外側に鉄製農工具、鉄鏃、鉄刀等が残されていたほか、全国的に珍しい優美な装飾把を持つ石製把付短剣が出土しています。盗掘坑からは鉄製甲冑などの破片が多く出土したことから、詳細は不明ですが木棺内に複数の甲冑が埋葬されていたと考えられます。

右側の東槨は完全に残されており、木棺内の北側に三角板革綴襟付短甲と三角板革綴衝角付冑のセットが

2組、鏡、鉄刀剣類が埋納されていました。襟付短甲は全国に十数例しかなく、所有している被葬者は畿内政権の中で特殊な役割を担っていた可能性もあると考えられています。

木棺の中央には被葬者の人体が置かれたと考えられ、鮮やかな水銀朱がまかれていて、被葬者が生前、腰に佩いていた可能性がある直弧文把頭付鉄刀剣類がまとめて埋葬されていました。木棺内の南側には長方板革綴短甲と付属具の甲が置かれ、最も南側には鉄刀剣類がまとめて埋葬されていました。

棺外には鉄製槍先とその長大な柄が漆膜だけになっていましたが添え置かれておりました。

大塚古墳の主体部から出土した鉄製品等は、畿内政権と地方豪族の関係をよく表しており、とりわけ襟付短甲や石製把付短剣など、希少な遺物を含むため、その重要性から、国の重要文化財指定を受けています。



第13中学生の校区歩き

6月27日(金)、第13中学校の「美術・イラスト部」の皆さん16名が校区を歩き、思い思いに気に入ったところを写真に撮りました。それをもとに絵を描くことにしています。

校区は、急な坂が多く、自転車通学の生徒はいないというも「なるほど」と納得。

校区歩きは、市の都市計画課が、中学生に景観に対する関心を深めてもらうために実施しているもので、当会がガイドとして協力しています。今回で6校目となります。



北谷の井戸



梅の実の収穫

6月8日(日)に、しろあと館で梅の収穫を行ったところ、10kg以上の実が採れました。(昨年は、数えるほどしか採れなかったのですが)早速梅ジュースを作りました。来館の時に1杯いかがでしょうか? 200円です。

当番ボランティアを募集

原田しろあと館の開館日である土・日に、月1~2回ほど、施設の清掃などの当番ボランティアをしてみませんか。ガーデニングの好きな方の参加也大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

土塁斜面工事開始

6月2日(月)から、土砂崩れ防止の工事が始まっています。11月28日(金)までの予定です。工事期間中は、土塁の見学はできません。ご了承ください。

原田しろあと館の一般公開は、土曜・日曜の12:00~16:00(入館は15:30まで)となっています

＝後 記＝

・今年の夏は「戦争」が終わって80年目の夏となります。戦争がいかに悲惨であるかは世界共通の認識であるはずですが・・・。「正義」を標榜する国家が対立すると、戦争の危険が一気に高まってしまう。何とかならんのでしょうか。

・6月の中頃、あるユーチューバーが取材に来て、豊中の見どころスポットの動画を製作中とのことでした。7月の中頃にはアップできるので、「旅八郎」で検索していただけるとありがたいとのことでした。時間があれば、覗いてみてはいかがでしょうか。(Y)

市民交流の場 原田しろあと館

発行：特定非営利活動法人とよなか・歴史と文化の会
〒561-0801 大阪府豊中市曽根西町4-4-15
TEL & FAX: 06-6841-3725(土・日 12時~16時)
Eメール: toyonaka-hc@song.ocn.ne.jp
URL: https://harada-shiroato.org

Vol.78



原田しろあと館入口

【8月・9月の催し物】

8月	
2日(土)	クラシックレコード鑑賞
3日(日)	むかし遊び・紙芝居
9日(土)	自由見学
10日(日)	おもちゃづくり
16日(土)	休館
17日(日)	休館
23日(土)	ジャズレコード鑑賞
24日(日)	遺跡発掘講座
30日(土)	オールディーズCD鑑賞
31日(日)	自由見学

9月	
6日(土)	クラシックレコード鑑賞
7日(日)	おもちゃづくり
13日(土)	自由見学
14日(日)	ミニコンサート
20日(土)	自由見学
21日(日)	ミニコンサート
27日(土)	ジャズレコード鑑賞
28日(日)	しろあと寄席

8月24日(日) 遺跡発掘講座 「発掘調査」についてと「遺跡発掘落語」

豊中市内には北摂でも有数の古墳群で国指定史跡の「桜塚古墳群」があります。それに伴って数々の遺跡が点在し、発掘調査も行われています。しかしなかなか発掘調査の現場に触れる機会がないのも事実です。「発掘ってどんな風にやられているんだろう?」そんな疑問に応え、また最新の情報にも触れられる講座です。講座の後は、実際に発掘調査も体験された桂鞠輔さんの「遺跡発掘落語」。どんな落語になるかこちらも楽しみな企画です。



市内各地に点在する遺跡の標示板

桂鞠輔さん

講座講師：小堀僚さん(郷土資料館学芸員) 落語出演：桂鞠輔さん

9月14日(日) 名曲に聞き惚れるヴァイオリンコンサート

いつもヴァイオリンの超絶技巧で参加者を魅了し続けているコンサートです。今回も数々の名曲の演奏と共に、曲にまつわるエピソードや映像もたっぷり楽しませて貰えることでしょう。しろあと館に出演される皆さんは「この会場は響きがいいですね」と言われます。古い木造建物ならではの思わぬ効果かも、。

演奏予定曲：ヴィヴァルディの四季より、ヒナステラのパンペアーナ、リムスキー・コルサコフのスペイン奇想曲 他

出演：柳浦香澄さん(ヴァイオリン) 松田淳子さん(ピアノ) 松田淳一さん(ヴァイオリン)



前回の演奏風景

9月21日(日) まだまだ暑い日の熱いジャズライブ

8月中は熱中症注意の呼びかけが。残暑の9月と言えどもまだまだ暑い日が続きます。暑い日には辛いカレー!! 暑い日には熱演のジャズライブは如何ですか。会場中に響き渡るサクソやドラムの音色。プレイヤーの熱のこもった演奏に皆さんも思わず暑さを忘れることでしょう。

演奏予定曲：I Love You、Triste 他

出演：青山 加世子さん(Sax.) 張木 浩司さん(Ba.) 小森 まさとさん(Dr.)



前回の演奏風景

9月28日(日) ～落語と邦楽～

「しろあと寄席」に毎回出演頂いている桂枝女太さんは豊中市の出身。師匠は5代目桂文枝さんです。繁昌亭への出演や独演会の開催、草野球にバレーボールと日々活躍されています。そして、和奏伎の皆さんは年2回定期的に出演頂いています。お正月は獅子舞い、夏は浴衣姿での演奏と、季節に合わせた演目や衣装が楽しみです。

出演：桂枝女太さん、和奏伎の皆さん

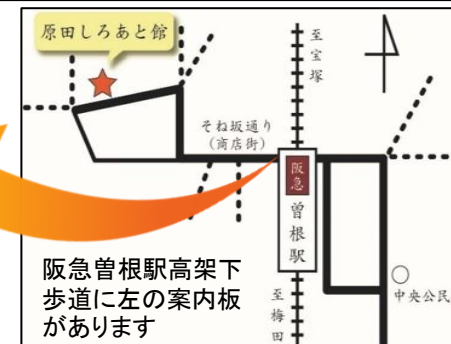


桂枝女太さん

和奏伎の皆さん



阪急曽根駅高架下の案内板



阪急曽根駅高架下歩道に左の案内板があります

原田しろあと館は、NPO法人とよなか・歴史と文化の会が、豊中市教育委員会からの委託を受けて管理・運営をしている市民交流のスペースです。多世代を対象に、さまざまな催しが行われています。また、四季折々の風情を楽しむこともできます。一度、遊びに来てください。